

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	英語教育推進事業				事業番号	038-032	
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育部	部	教育課程課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 〜Children's future〜		施策	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.7		
			有	取組	英語教育、多文化理解の促進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	昭和 62 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	教育基本法、学習指導要領		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市立小・中・高等学校の児童生徒				対象数	単位
						57,338	人
7	事業の目的	児童生徒がネイティブ・スピーカー等との交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする機会を設け、英語を使ったコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。					
8	事業内容	■市立小・中・高等学校にネイティブ・スピーカーを配置 ■小学校教員及び中・高校英語教員の英語力及び英語指導力向上にかかる研修を実施 ■中学校においてオンライン英会話を実施 ■中学校4校においてAI英語活用モデル事業を実施 ■英語教育の専門性をもつ非常勤講師を小学校に配置					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	■中学校2年生でのオンライン英会話の実施					
9	主な支出先	委託業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	英検3級程度の力を有する生徒の割合	%	目標値	60	62	64	65
			実績値	60	60		
			達成率	100%	97%		
	当該指標を選定した理由	義務教育9年間における英語教育実施の成果を測る指標として適当であると考えられるため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	英語教育実施状況調査（中学校3年生）					
	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	英語の授業はよくわかると答える生徒の割合	%	目標値	79	80	81	
			実績値	79	74		
			達成率	100%	93%		
12	当該指標を選定した理由	全市的な英語教育の実態を客観的に把握できる指標であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度堺市児童生徒学習・生活状況調査（中学校1・2年生） 令和7年度IRTを活用した堺市学力・学習状況調査（中学校1・2年生）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	英語教育推進事業	事業番号	038-032
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	188,151	188,358	207,702	194,547	217,869
	財 国支出金	3,236	4,063	4,394	2,084	12,300
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	訳 その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	0	110,000	203,308	113,701	101,209
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	184,915	74,295	0	78,762	104,360
14	人件費（b）	4,860	4,860	5,040	5,040	5,220
15	年間経費（c）=(a)+(b)	193,011	193,218	212,742	199,587	223,089

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	堺市英語教育に関する人材派遣業務委託料	R7 決算	141,222	78,270	会計年度任用職員通勤費等旅費	R7	決算	2,017	0
			R8 予算	155,745	88,466		R8	予算	3,430	1,034
		堺市小中学校オンライン英会話委託業務等	R7 決算	34,383	0	研究指定校等消耗品費	R7	決算	330	330
			R8 予算	35,451	0		R8	予算	576	85
		委託業務事業者選定専門家等報償費	R7 決算	110	110	AI英語モデル手数料	R7	決算	903	0
			R8 予算	404	312		R8	予算	2,587	0
		委託業務事業者選定委員会会場等借上料	R7 決算	357	52	会計年度任用職員等期末勤勉手当	R7	決算	0	0
			R8 予算	496	100		R8	予算	2,373	2,009
		会計年度任用職員報酬	R7 決算	15,225	0	印刷費	R7	決算	0	0
			R8 予算	16,802	12,354		R8	予算	5	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 英検3級程度の力を有する生徒数	人	4,067	4,007
	② 上記①にかかる年間経費	千円	193,218	199,587
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	47,509	49,810
	算出についての説明等	英語教育実施状況調査（中学校3年生）		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・成果指標の実績値は、引き続き同じ値となっているが、目標値を上げているため、昨年度は100%には達していない。一人でも多くの児童生徒が英語を学ぶことに関心を持ち、豊かな英語力を身に付けることができるよう、教員の指導力向上に係る取組を今後も引き続き推進する。また、ネイティブ・スピーカーやオンライン英会話の効果的な活用をより一層進める必要がある。
	・活動指標においては、昨年度より低下し93%となった。引き続き、教員向け研修を充実させ、授業の質を向上させることにより、英語の授業における生徒の理解を深め、英語を使ってコミュニケーションを図ることへの自信へと繋げていく。
	・教員向け研修における言語活動の充実やオンライン英会話の導入により、生徒一人ひとりが英語で話す機会が着実に増加している。その結果、生徒は自分の思いを英語で伝える経験を重ねる中で、英語による会話への自信を高めるとともに、会話そのものに対する心理的な抵抗感を軽減することができている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・ネイティブ・スピーカーの年間配置や全市中学校2年生におけるオンライン英会話の効果的な実施、授業改善に向けた研修の実施により、外国語教育の充実が図られることで、児童生徒に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や語学力が養われることから、第3期未来をつくる堺教育プランの基本施策2「グローバルに活躍できる力の育成」に寄与している。
	・早期より英語に慣れ親しみ、外国語でのコミュニケーション能力を育むことで、本市の児童生徒の総合的な学力向上の育成に寄与している。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、ネイティブスピーカーの配置やオンライン英会話、教員研修、生成AIの活用等の充実により、英語に触れ、活用する機会を確保し、コミュニケーション能力の向上、さらに英語を使う事への自信向上や抵抗感の軽減も確認され、有効性は高い。また、グローバル化の進展により、その必要性は一層高まっており、堺教育プランの目標達成にも資する取組である。今後は生成AIや教育DXと連動し、取組の質の向上と教員の授業改善をさらに推進する必要がある。以上より、本事業は必要性・有効性ともに高く、引き続き推進すべきである。
	有効性	■ 高い □ 低い	